

I 調査結果の概要

1 野生鳥獣のジビエ利用量

食肉処理施設が平成30年度に処理した野生鳥獣のジビエ利用量は1,887 tで、前年度に比べ15.8%増加した。

このうち、食肉としての販売目的で処理したジビエ利用量は1,400 tで、前年度に比べ22.2%増加し、鳥獣種別にみるとシカが957 tで17.6%増加、イノシシが426 tで31.5%増加、その他鳥獣が17 tで112.5%増加した。

図1 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）（平成30年度）

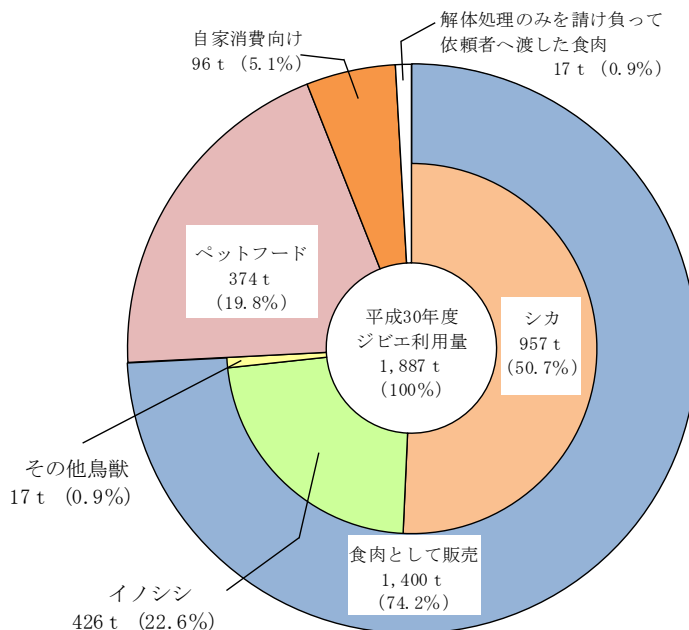


表1 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）

区分	合計	食肉処理施設が販売							解体処理のみを請け負って依頼者へ渡した食肉	自家消費向け食肉
		計	食肉				ペットフード			
			小計	イノシシ	シカ	その他鳥獣				
平成29年度	1,629	1,519	1,146	324	814	8	373	26	84	
30	1,887	1,774	1,400	426	957	17	374	17	96	
対前年度比 (%)	115.8	116.8	122.2	131.5	117.6	212.5	100.3	65.4	114.3	
構成割合 (%)										
平成29年度	100.0	93.2	70.3	19.9	50.0	0.5	22.9	1.6	5.2	
30	100.0	94.0	74.2	22.6	50.7	0.9	19.8	0.9	5.1	

注： 構成割合については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

2 野生鳥獣の解体頭・羽数

食肉処理施設が処理した野生鳥獣の解体頭・羽数は11万4,655頭・羽で、前年度に比べ18.3%増加した。

鳥獣種別にみると、シカが7万4,136頭で15.1%増加、イノシシが3万4,600頭で23.4%増加、その他鳥獣が5,919頭・羽で32.6%増加した。

図2 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

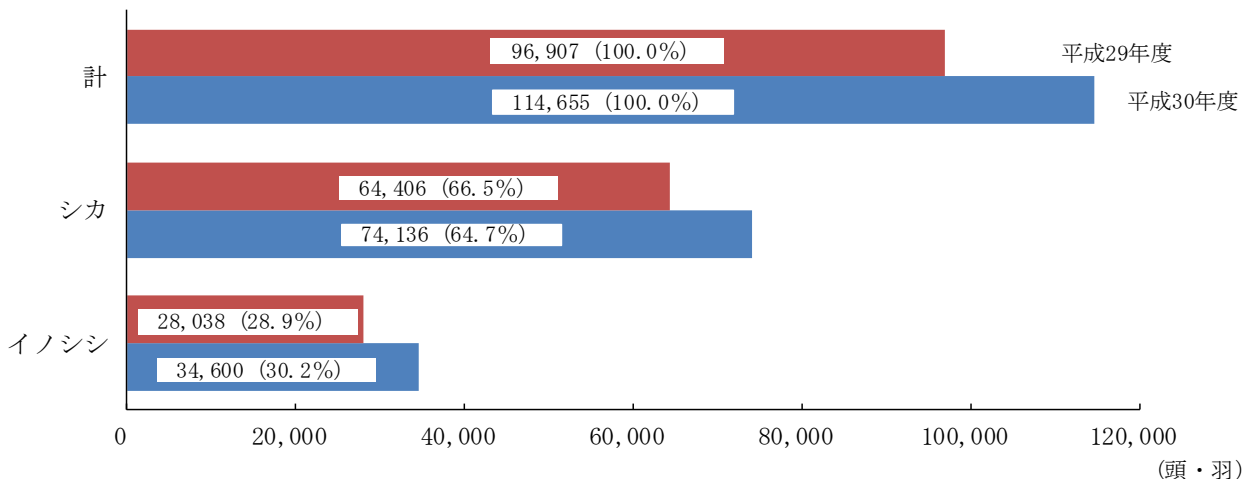


表2 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

区分	計	イノシシ	シカ	その他鳥獣				
				小計	クマ	アナグマ	鳥類	その他
平成29年度	96,907	28,038	64,406	4,463	172	281	3,950	60
30	114,655	34,600	74,136	5,919	240	535	4,960	184
対前年度比(%)	118.3	123.4	115.1	132.6	139.5	190.4	125.6	306.7
構成割合(%)								
平成29年度	100.0	28.9	66.5	4.6	0.2	0.3	4.1	0.1
30	100.0	30.2	64.7	5.2	0.2	0.5	4.3	0.2

表3 (参考) イノシシ、シカの捕獲頭数（全国）

単位:頭

年度	計	イノシシ	シカ
平成29年度	1,159,100	553,800	605,300
30 (速報値)	1,163,200	602,200	561,000

資料：環境省調べ。平成30年度は令和元年10月時点速報値。

3 食肉処理施設で処理して得た金額

食肉処理施設で処理して得た金額は38億2,100万円で、前年度に比べ21.4%増加した。

このうち、食肉の販売金額は35億7,700万円で、前年度に比べ22.5%増加しており、鳥獣種別にみるとシカが18億9,200万円で15.4%増加、イノシシが16億1,800万円で29.8%増加、その他鳥獣が6,700万円で109.4%増加した。

表4 食肉処理施設で処理して得た金額（全国）

単位：100万円

区 分	合 計	販 売 金 額										解体処理の請負料金
		計	食 肉				食 肉 以 外					
			小 計	イノシシ	シカ	その他鳥獣	小 計	ペットフード	皮革	鹿角製品(鹿茸等)	その他	
平成29年度	3,147	3,125	2,919	1,247	1,640	32	206	193	6	6	1	22
30	3,821	3,795	3,577	1,618	1,892	67	218	201	8	8	1	26
対前年度比(%)	121.4	121.4	122.5	129.8	115.4	209.4	105.8	104.1	133.3	133.3	100.0	118.2
構成割合(%)												
平成29年度	100.0	99.3	92.8	39.6	52.1	1.0	6.5	6.1	0.2	0.2	0.0	0.7
30	100.0	99.3	93.6	42.3	49.5	1.8	5.7	5.3	0.2	0.2	0.0	0.7

4 食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別販売価格

食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別の1kg当たりの販売価格は、イノシシが3,784円で前年度と比べ1.8%低下、シカが1,927円で6.0%低下した。その他鳥獣が4,343円で34.5%上昇した。

表5 食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別販売価格（全国）

単位：円/kg

区 分	イノシシ	シカ	その他鳥獣
平成29年度	3,853	2,051	3,228
30	3,784	1,927	4,343
対前年度比(%)	98.2	94.0	134.5

5 解体頭・羽数規模別食肉処理施設数

野生鳥獣の解体頭・羽数規模別に食肉処理施設数をみると、50頭・羽数以下が275施設と最も多く、全体の約4割を占めた。

一方、1,001頭・羽数以上の階層では、1,001～1,500頭・羽数が10施設（1.6%）、1,501頭・羽数以上が12施設（1.9%）であった。

図3 解体頭・羽数規模別食肉処理施設数（全国）（平成30年度）

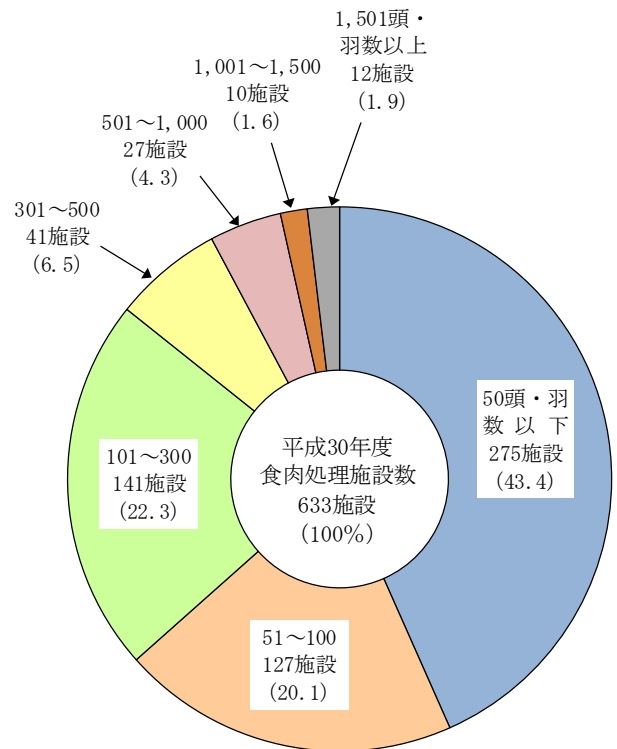


表6 解体頭・羽数規模別食肉施設数（全国）

区分	解体頭・羽数規模							
	計	50頭・羽数以下	51～100	101～300	301～500	501～1,000	1,001～1,500	1,501頭・羽数以上
平成29年度	590	274	110	137	30	24	9	6
30	633	275	127	141	41	27	10	12
対前年度比 (%)	107.3	100.4	115.5	102.9	136.7	112.5	111.1	200.0
構成割合 (%)								
平成29年度	100.0	46.4	18.6	23.2	5.1	4.1	1.5	1.0
30	100.0	43.4	20.1	22.3	6.5	4.3	1.6	1.9

単位：施設